

町立大鰐病院新改革プラン取組状況について
(平成28年度分)

町立大鰐病院

町立大鰐病院改革プラン

大鰐町では町立大鰐病院の果たすべき役割を明確化するとともに引き続き病院収支の改善や経営基盤の強化などを通じて持続可能な病院経営を目指すため「町立大鰐病院新改革プラン」を平成29年3月に策定したところであります。

当改革プランにつきましては決算状況を踏まえ毎年点検評価をすることとしておりますので以下の通り点検するものであります。

① 点検・評価の体制

改革プランの点検・評価について大鰐病院運営審議会(町議会議員5名、町開業医1名、学識経験者2名、医療を受ける立場の人2名)において行います。

② 点検評価の時期

改革プランの実施状況等はおおむね年1回行います。

③ 公表方法

病院ホームページで速やかに公表します。

改革プランにおける計画値は、平成28年度決算見込値をベースとし、今後の取組を含めて推計したものであり、平成28年度から平成32年度までを計画しているものの、平成29年度中に町立病院の今後の方向性を定める予定であり、新たな診療体制での運営は、本計画期間以降(平成33年度以降)を想定していることから、安定的な運営を目指すこととしています。

平成28年度の実績につきましては、計画と比較して、収入、支出とも下回り、平成27年度に引き続き、極めて厳しい経営状況となりました。

この要因として、収入面においては、

(a) 入院収益について、内科の患者数が減となったことを主な要因として、計画値を下回ったこと。

(b) 外来収益についても、患者数が落ち込んだため、計画値を下回ったこと。

また、支出面においては、

(c)退職者による給与費の減と患者減少に伴う薬品費の減による経費の減などによるものが主な要因として考えられます。

(収入)

(単位:千円)

項目		28 計画	28 実績	達成率(%)
(a)	入院延べ患者数	9,500	8,935	94.1
	1日当たり平均患者数	26.0	24.5	94.2
	入院収益	260,000	238,579	91.8
	入院診療単価	27,368	26,701	97.6
(b)	外来延べ患者数	33,186	33,008	99.5
	1日当たり平均患者数	112.9	112.7	99.8
	外来収益	190,428	194,565	102.2
	外来診療単価	5,738	5,894	102.7
経常収益計		808,016	794,802	98.4

(支出)

(単位:千円)

項目		28 計画	28 実績	達成率(%)
(c)	給与費	437,389	439,788	100.5
	材料費	107,910	97,497	90.4
	経費	212,697	194,844	91.6
	減価償却費	43,454	44,226	101.8
経常費用計		805,290	799,503	99.3

医療機能等指標に係る数値目標と実績について

項目		28 計画	28 実績	達成率 (%)
医療機能・医療品質にかかわるもの				
	救急患者数	424 人	423 人	99.8
	手術件数	40 件	29 件	72.5
	訪問診療件数	18 件	30 件	166.7
	減価償却費	43,454 千円	44,226 千円	101.8
その他				
	人間ドック数	220 件	209 件	95.0
	健診件数	400 件	346 件	86.5

経営指標に係る数値目標と実績について

項目		28 計画	28 実績	達成率 (%)
収支改善にかかわるもの				
	経常収支比率	100.3%	102.0%	101.7
	医業収支比率	64.1%	64.1%	100.0
	累積欠損金比率	244.5%	250.0%	102.2
	資金不足比率	-6.8%	0	0
経費節減にかかわるもの				
	材料費対医業収益比率	21.0%	19.6%	93.3
	薬品費対医業収益比率	15.6%	14.9%	95.7
	委託費対医業収益比率	10.5%	10.7%	101.8
	職員給与費対医業収益比率	85.0%	88.3%	103.9
	減価償却費対医業収益比率	8.4%	8.9%	105.8
	後発品の費用割合	2.6%	2.5%	96.2
収入確保にかかわるもの				
	2 ページに掲載済み			
経営安定にかかわるもの				
	医師数	5 人	5 人	100.0
	看護師数	31.5 人	31.5 人	100.0
	企業債残高	79,982 千円	79,982 千円	100.0

項目	計画	28年度評価		評価(委員からの意見)
経費削減抑制対策	① 人員の適正配置 ② 後発医薬品への切り替え ③ 委託契約	未達成	計画年度のため実績算出不可	・後発医薬品の切り替えに関してできるものすべてとは言わないもののできる限り進めてほしい。
収入増加確保対策	① 開業医との連携を強化し入院患者の増 ② 介護・福祉施設との連携を強化し入院患者の増 ③ 救急患者を積極的に受け入れによる入院・外来患者の増 ④ 午後の診療を積極的に受け入れによる外来患者の増 ⑤ 健康診断・人間ドック体制の強化 ⑥ 町複合検診後の要精密検査等を積極的に受け入れによる入院・外来患者の増	未達成	計画年度のため実績算出不可	・開業医との連携に関して会合等が開催されていないようですので良好な関係を構築していただきたい。 ・救急患者の積極的受入や午後の診療の積極的な受け入れに関して今後改善させることを期待する。 ・計画値の数値目標が低く設定されているように感じる。

各年度の収支計画

別紙の通り

経営形態の見直しについて

「新公立病院改革ガイドライン」で定めた経営形態の見直しに係る選択肢のうち、事業形態の見直し(診療所化、老健施設など医療機関以外への事業形態の移行)については今後の町立大鰐病院の在り方について29年度中に方向性が定まる予定であるため、定まり次第検討予定です。

自己評価

前年度に引き続き、医業収益が落ち込んでいるのは入院収益の減少によるものです。収益的収支の平成28年度決算額15,299千円の黒字化は町からの基準外繰入150,000千円があったためであり、職員給与費をはじめとして対医業収益比率は依然厳しい状況にあります。

今後といたしましては、収入面において患者の確保や健診及び人間ドック件数の確保を目標とし、支出面では看護師をはじめとした退職者不補充による人件費の削減や施設設備等に係る整備費の一層削減を目指す必要があります。

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度			
		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差A-B)
収 入	1. 医 業 収 益 a	540,096	514,445	497,811	16,634
	(1) 料 金 収 入	474,079	450,428	433,143	17,285
	(2) そ の 他	66,017	64,017	64,668	▲ 651
	うち他会計負担金	41,385	41,385	41,385	0
	2. 医 業 外 収 益	283,325	293,571	296,991	▲ 3,420
	(1) 他会計負担金・補助金	251,316	290,623	293,018	▲ 2,395
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	0	1,948	1,948	0
	(4) そ の 他	32,009	1,000	2,025	▲ 1,025
	経 常 収 益 (A)	823,421	808,016	794,802	13,214
支 出	1. 医 業 費 用 b	804,376	802,650	776,919	25,731
	(1) 職 員 給 与 費 c	445,484	437,389	439,788	▲ 2,399
	(2) 材 料 費	120,741	107,910	97,497	10,413
	(3) 経 費	196,042	212,697	194,844	17,853
	(4) 減 価 償 却 費	41,441	43,454	44,226	▲ 772
	(5) そ の 他	668	1,200	564	636
	2. 医 業 外 費 用	3,041	2,640	2,584	56
	(1) 支 払 利 息	2,084	1,640	1,572	68
	(2) そ の 他	957	1,000	1,012	▲ 12
	経 常 費 用 (B)	807,417	805,290	779,503	25,787
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	16,004	2,726	15,299	▲ 12,573	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	25,104	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	400	1,000	7	993
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	24,704	▲ 1,000	▲ 7	▲ 993
純 損 益 (C)+(F)	40,708	1,726	15,292	▲ 13,566	
累 積 欠 損 金 (G)	1,259,626	1,257,900	1,244,334	13,566	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	166,366	137,651	201,962	▲ 64,311
	流 動 負 債 (イ)	168,132	165,082	144,488	20,594
	うち一時借入金	100,000	100,000	80,000	20,000
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 差引不良債務 (オ)	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.0	100.3	102.0	▲ 1.6	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.3	5.3	▲ 11.5	16.9	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	67.1	64.1	64.1	0.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	82.5	85.0	88.3	▲ 3.3	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	45.6	43.4	40.8	2.6	

2. 収支計画(資本的収支)

年度		27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差A-B)
区分					
収 入	1. 企業債	3,800	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	13,071	13,652	11,257	2,395
	4. 他会計借入金	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	11,687	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0
	収入計 (a)	28,558	13,652	11,257	2,395
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	28,558	13,652	11,257	2,395	
支 出	1. 建設改良費	21,980	12,960	8,171	4,789
	2. 企業債償還金	44,754	14,344	14,343	1
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
	支出計 (B)	66,734	27,304	22,514	4,790
差引不足額 (B)-(A) (C)	38,176	13,652	11,257	2,395	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	38,176	13,652	11,257	2,395
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
計 (D)	38,176	13,652	11,257	2,395	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	27年度 (実績)	28年度 (計画A)	28年度 (実績B)	28年度 (差A-B)
収益的収支	(110,075)	(150,000)	(150,000)	(0)
	317,805	332,008	334,403	▲ 2,395
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)
	13,071	13,652	11,257	2,395
合計	(110,075)	(150,000)	(150,000)	(0)
	330,876	345,660	345,660	0

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。